

ご利用の手順

① お電話・お問い合わせページよりお問い合わせ

まずはお気軽にお問い合わせください。
HP やパンフレットではわからないご不明点やお子さまのお悩みなどお伺いし
見学及び空き状況のご案内をします。

② 施設見学・無料体験のご相談・体験授業

施設内の案内や療育プログラムなどをご説明させていただきます。
また、お子様の様子やご家族が考える課題などをお聞かせください。
保護者の方だけでも構いません。お子様に合わせたカリキュラムで無料体験授業を受けていただけます。

受給者証を既にお持ちの方

受給者証をお持ちでない方

③ 個別支援計画、 重要事項のご説明、ご契約

ご利用スケジュールを決定し、受給者証、印鑑を
お持ちいただいた上で、重要事項のご説明→ご契約→
個別支援計画を作成します。

④ ご利用開始

全てのお手続きが完了しましたら、
ご利用開始となります。

通所受給者証申請のための 利用計画書の作成

お住まいの役所の福祉窓口へ問合せ、申請に必要な書類
をもらいます。(自治体によっては、ホームページからダ
ウンロードができます。) また、申請に関しては相談支援
サービスを有する自治体も多いので該当サービスを活用
することも可能です。ケイベース高田キャンパスでも申
請のサポートは致しますのご相談ください。

通所受給者証とは？

施設利用の為に、お住まいの市区町村から交付される
証明書を通所受給者証といいます。通所受給者証は、
利用するお子様が受けられるサービス種類や支給量 (利
用可能日数) などが記載されます。この受給者証を取
得することで、利用料の9割が自治体によって負担され、
1割の自己負担でサービスを利用できます。

受給者証の取得後、③へ

見学・体験、随時受付中。
お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】 些細なことでもかまいません！



児童発達支援・放課後等デイサービス
ケイベース高田キャンパス

☎ 045-330-4980

お問い合わせ



HPからも
お問い合わせ
できます

ホームページ



児童発達支援・放課後等デイサービス
保育所等訪問支援

ケイベース高田キャンパス



児童発達支援・放課後等デイサービス って？

発達に心配がある、または障がいを持っている子どもたちの自立支援や機能訓練をしたり、遊びや学びの場所を提供する支援・サポートです。
児童発達支援＝0歳～小学校就学前まで、放課後等デイサービス＝6歳～18歳までという区分です。

保育所等訪問支援 って？

障害のある子どもが集団生活をする際に、さまざまな困りごとが生じることがあります。
保育所等訪問支援では、専門知識を持った支援員が保育所や学校、放課後児童クラブ(学童)などの「集団生活の場」に訪問し、
子どもの様子を観察し、どのようなことに困っているのか、その原因はなにかを分析し、直接支援、間接支援(環境を整えるなど)を行います。

ケイベースってどんなところ？

うちの子、
なんか違う？

お子さまにこんな不安はありませんか？

乳幼児健診で指摘された

こだわりが強い、癇癪が強い

子どもの成長に違和感があるが
どこに相談していいかわからない

友達や同年代の子との
関わりが苦手

約束を覚えていない

数字や色、ひらがななど
教えても覚えるのが難しい

感情のコントロールが苦手

嫌いな事が全くできない、
苦手が多い

授業中他の事に気を取られて集中できない

話をきいていない、
ぼーっとする事がある

宿題に集中が出来ない又は
理解ができておらず一時間以上かかる

ケイベースでは、お子様の個性に合わせひとりひとりに
合ったプログラムを提案し、小集団での指導を行います。

ケイベースの方針

療育への情熱

当校の指導方針はシンプルです。それは、あらゆるタイプの学びを導入し、提供することです。私たちは子どもたちの希望を尊重し、適切な指導のもと彼ら全員が目標を達成できることに共に喜びたいと考えています。私たちの指導は、子どもたちが個々の個性にあわせて独創的に学問的な理解ができる学べるよう指導しています。

5領域支援プログラム

「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」
「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」

児童発達支援ガイドラインを遵守し、ケイベースでは指定の5領域に紐づく支援プログラムで、お子さまの個々の支援を実施しています。ケイベースで提供する様々な支援プログラムが、その5領域において、どの領域・部分に関するの支援なのか等は「5領域支援プログラム表」を参考にその関連を提示しています。

スタッフ

知識と経験を持ち合わせた
児童教育におけるプロのスタッフが
お子様の成長を支援します。

スタッフの
紹介



ケイベース のカリキュラム

お子様に
合わせた
指導

お子様の苦手な部分や得意な部分を把握し個別支援計画を作成し計画を元に支援を行います。最適な学びや小集団活動を行うことで日常生活が過ごしやすくなり、成功体験を積み重ねる事で自己肯定感を育み、ひとりひとりの発達や成長につなげていきます。

モンテッソーリ教材を 使用するレッスン

興味関心から教具の選定を本人が行い、様々な活動を通して、選択の経験・成功の経験・失敗の経験をつみます。

公文式学習を導入

ひとり一人に合わせた「ちょうどの内容」。
スモールステップ教材で学べます。
※株式会社公文教育研究会との契約に基づき、公文式学習導入施設として、教材提供と学習指導のサポートを受けています。

毎日の充実した活動

各活動を週1回は
必ず取り入れます！



課外活動



食育



いけばな



制作



その他
(SST・地域交流)

タイム スケジュール

児童発達支援
(午前・午後共通)

① 始まりの会 10分	② 歩行訓練 など 40分	③ 机上訓練 など 45分	④ 課外活動 45分	⑤ 昼食訓練 (午後の場合) おやつ 15-30分	⑥ 帰りの会 10分
----------------	---------------------	---------------------	---------------	------------------------------------	---------------

- ① 始まりの会／手洗い・うがい・トイレ・支度
- ② 歩行訓練／一列になって等間隔でペースを保って歩行を行います。会話はせずにケイベースから河川敷を一周し30分～60分歩行します。必要があるお子様は手をつないで歩く訓練を行います。
- ③ 机上訓練(公文・モンテッソーリ教具使用等)
- ④ 課題活動(本日の活動)／様々な活動を通して一定時間、小集団の中で活動に取り組み続け、持続力を養います。
- ⑤ 昼食訓練／食事のマナー・ルールを知ります。就学時の給食対応も。※午後の場合は、おやつ時間、就学準備レッスン等を考えています。
- ⑥ 帰りの会／保護者へのフィードバックなど

施設案内



1F

キッチン付き
指導訓練室
(16畳)

玄関

車庫



2F

訓練室
(10畳)

モニター
付き
待合室



ゆったり空間

- ◆ 広々100㎡越えの施設
- ◆ トイレ2箇所

安全・安心

保護者がお子様を見学できる
モニター付き待合室があり、
活動中の様子を確認できます。

保育所等訪問支援

私たちがお子様の集団生活の場に訪問して
行う支援です。

なぜそれが起きているのか？を間接的にみることで、支援することをします。

具体的な利用例

いつもトラブルが多く
学校の先生が困っている

集団生活が難しいと聞くけど、
何が原因なのかわからない。

行きしぶりがある

途中まで参加できていたのに、
急に嫌になって参加しなくなる

利用の流れは
こちらから



ご利用料金

利用料金は自治体によって定められており、割合としては、自治体負担は9割で利用者の負担は1割となっています。放課後等デイサービスの指導内容によっても金額が変わってきますが、利用者の負担は1回あたり700円から1,200円程度ということになります。3歳から小学校入学前までは幼児教育無償化の期間となり無償で通所が可能です。ただし、おやつ代金、課題活動と公文式学習を希望される場合は別途費用が発生します。

課題活動費

実際にかかった費用の負担をお願いしています。
例：食育の材料費 50円～200円程度・いけばな 1000円前後・
課外活動での電車移動にかかわる交通費・施設入場料 100円～500円程度

公文式学習(希望制)

こくご：2400円＋税 さんすう：2400円＋税 / 月

おやつ代(希望制)

50円 / 食

利用者負担上限月額

負担上限額	世帯の所得などの状況
0円	生活保護 (または中国残留邦人等支援法による 支援給付) 受給世帯
0円	市民税非課税世帯
4,600円	所得割 28万円未満
37,200円	所得割 28万円以上